

アジアの未来

中国の経験

革命・人民・社会主義

2014年3月27日(木) 13:00-18:00

一橋大学東キャンパス国際研究館4階大教室

司会 鈴木将久(一橋大学)

問題提起 坂井洋史(一橋大学)

羅崗(華東師範大学) “人民”在革命中国的一種意涵:小農經濟与公私觀念

(革命中国における“人民”の意味:小農經濟と公私の觀念)

倪偉(復旦大学) 労働造就新人:中国革命中的“労働”話語与实践

(労働が作る新しい人間:中国革命における“労働”言説与实践)

コメンテータ **加藤三由紀**(和光大学)

今日の東アジア地域は様々な緊張を内包しています。世界が国家を基本単位として成る以上、国権同士の摩擦は不可避とも思われます。一方、近代化開始当初から、国境を越えて、真に自由で平等な社会を実現しようとする努力や試みも存在してきました。今日否定的な評価の下されることも多い中国革命と社会主義建設ですが、しかしそれは確かに人類解放という偉大な目標の実現を目指す試みの一部を構成するものでした。私たちが直面する難題を解決すべく、「中国の経験」という思想資源はすでに完全に枯渇してしまったのでしょうか？思想の極北にユートピアという光点を据えて現在を照射し、人類の解放を遠望することは不毛でしょうか？上海から気鋭の論客を招いて、革命・人民・社会主義について語ってまいります。

必要に応じて通訳の準備があります JR 中央線国立駅南口下車徒歩7分

お問い合わせ 坂井洋史 SAKALbanjing@rhit-u.ac.jp